

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年10月23日

計画の名称	新駅設置に伴うストック効果を高めるアクセス道路の整備												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和04年度 (3年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	当別町												
計画の目標	新駅へのアクセス道路の整備を実施し、交通結節点機能の形成により駅利用者の増加や、当別町道の駅、太美市街地、民間工場見学施設を結ぶ西当別地区の周遊エリアのさらなる交流人口の増加により活力あるまちづくりを目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	460	A	332	B	0	C	128	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	27.82	%

番号	計画的成果目標(定量的指標)	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	周遊エリア内の交流人口の増加 周遊エリア内の歩行者通行量の増加を指標とする。 周遊エリア内(町道十五線)歩行者通行量の調査	R2当初	R4未	R4未
		3650人/年	人/年	81327人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	北海道	当別町	直接	当別町	市町村道	改築	十五線	アクセス道路造成、歩道新設	当別町						332		-
											小計						332		
											合計						332		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	C01-001	道路	北海道	当別町	直接	当別町	市町村 道	改築	十五線	駐車場・駐輪場整備	当別町						128		-
		交通結節点としての利便性が向上し、交流人口の増加につながる																	
											小計						128		
											合計						128		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
学識経験者からの意見聴取を行うとともに、当別町にて評価を実施した。	令和5年10月
	公表の方法
	当別町ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	新駅へのアクセス道路を整備したことにより、安全性や駅周辺施設を周遊する利便性が向上し、駅利用者が増加した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	-
特記事項（今後の方針等）	
<p>今後は、駅利用者にとって、安全安心な駅前広場の交通結節点機能の維持を図っていくとともに、駅周辺の利便性や魅力の向上による更なる人を呼び込む施策を推進します。</p> <p>【学識経験者からの意見】 本事業をきっかけに、外国人向けも含めた周辺案内の充実や安全な道路環境の維持、道の駅など周辺の周遊環境との連携を視野にいれて整備を進めてほしい。</p>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	81327人/年	アクセス道路の整備により、新駅が交通結節点として新たな拠点となったことで、目標を上回る効果が出た。
	最終実績値	161535人/年	